

令和6年度日本教職大学院協会研究大会
パネルディスカッション 概要

日 時: 令和6年 12 月 15 日(日)13:00～15:00

会 場: 群馬大学荒牧キャンパス C204教室

開催方法: 対面およびZoomによるオンライン配信のハイブリッド

テーマ: 「教職大学院の研究・実践と地域教育界をつなぐ」

全体の趣旨: 教職大学院においては、教職の高度化に向けた大学と教育委員会との連携体制をより一層実効あるものとする取り組みが求められている。また、2008 年の教職大学院創設より16年が経過しており、創設当初に教職大学院で学んだ院生の中には、地域の教育委員会で活躍する者も増えてきている。

そこで本パネルディスカッションでは、2008 年に教職大学院を開設した群馬大学を例として、教職大学院と地域教育界との連携をどのように充実、発展させていけるかを共に考える一材料としたい。話題提供として群馬県山間地域の校内研修を教職大学院が遠隔で支援した事例、および、修了生が教職大学院と地域教育界との「つなぎ役」となり連携推進を目指している2つの事例を取り上げる。続いて、コメンテーターとして元教職大学院教員である日暮利明氏に教職大学院と地域教育界との双方に身を置いた経験から発言いただく予定である。

なお、本パネルディスカッションは群馬県教育委員会との連携事業の一つとして、県内外教職員にも広く公開するものである。

パネリスト

藤井 智章 太田市教育委員会教育部生涯学習課指導主幹 (約 25 分)
群馬大学教職大学院第5期(2012 年度入学)修了生

福島 裕美 前橋市教育委員会事務局学校教育課教育研修係 (約 25 分)
群馬大学教職大学院第9期(2016 年度入学)修了生

濱田 秀行 群馬大学教職大学院教授 (約 25 分)

コメンテーター 日暮 利明 榛東村立榛東中学校教頭
元群馬県教育委員会中部教育事務所指導主事・
元群馬大学教職大学院准教授 (約 25 分)

司 会 中村 保和 群馬大学教職大学院准教授